

2022年9月22日
社会福祉法人 博友会

新型コロナウイルス感染者発生について（第1報）

9月15日、当法人が運営する「御前山フロイデガルテン」職員1名が抗原検査「陽性」と確認され、直ちに当該職員と多く接触したご利用者様・職員のPCR検査を実施いたしました。その結果、17日、ご利用者様2名、職員1名の感染が確認されました。

毎日の抗原検査の結果、20日現在、職員3名、ご利用者様6名の感染が確認されております。職員につきましては、自宅待機、ご利用者様につきましては協力病院である志村大宮病院でのメディカルチェック後、医師の診断に基づき治療を開始し、保健所の指示により当施設内で療養しております。

御前山フロイデガルテンでは、当方のマニュアルに沿って、速やかに通常の消毒以外に徹底的に消毒作業を実施するとともに、標準感染予防策(スタンダード・プリコーション)に基づくケアの提供、利用者様、職員の体調確認の徹底等、感染拡大防止策を継続して実施してまいります。職員は、毎日出勤前抗原検査を実施し陰性確認後業務にあたっております。陰性のご利用者様は定期的に抗原検査、PCR検査を実施しており22日現在、新たな陽性者は出ておりません。

発生がショートユニットであったため、感染が落ち着くまでの間、受け入れを中止致します。ご利用希望の方は、サテライト施設である「大宮フロイデドルフ」までご相談いただければ幸いです。

今後とも引き続き、保健所・自治体等の関係機関と連携を図り、感染拡大の防止に努めるとともに、必要な措置を適切に講じてまいります。

ご利用者様ならびにご家族様にはご不便ご迷惑をおかけしますこと、誠に申し訳ございません。

何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以 上